

## 中央社保協 学習交流会



各地の運動の経験を交流した中央社保協の国保改善運動学習交流集会=16日、東京都台東区

中央社会保険推進協議会の国保部会は16日、東京都内とオンラインで会議を組び、高すぎる国民健康保険（国保）の動向と課題を学び、運動を交換する国保改善運動学習交流集会を行いました。

自営業者や無職の人々が加入する国保の保険料が

料（税）値上げ抑制のために、市町村は一般会計から国保会計への繰り入れ（法定外繰り入れ）を行っています。しかし2018年以降、財政運営の都道府県化で、政府は法定外繰り入れにペナルティーチーを科し、多くの自治体で保険料が

保険料を決める権限は市町村」とある」と強調しました。全国の運動の経験を交流。愛知の代表は、43年間続いている県内全市町村要請キャラバンで、名古屋市が実施している「法定外繰り入れによる減免制度」「多人数世帯・ひとり親・障害者への所得割の独自探除」を求めていふと語りました。

# 国保料引き下げ行動全国で

値上げされました。

国保制度に詳しい神奈川自治労連委員長の神田敏忠氏は、「国が国保制度への公費負担削減を狙い、法定外繰り入れの解消と、国保料の激増な上昇を招く保険料水準の統一を目指している」と指摘。

被保険者。自治体キャラバン、住民運動で暮らしを守れと訴えよう」と呼びかけました。

千葉の代表は、取り組んだ実態調査アンケートで国保加入者572人の82・8%が保険料が高いと回答したと紹介。

住民運動と日本共産党市議団の論戦で31年ぶりに国保料引き下げを実現した長野県松本市、20年12月に「高松市国保料引き下げる会」を発足した香川県、運動を通じて村を除く全11市町で国保法44条（医療機関窓口負担分減免）に基づいて一部負担金減免規定をつくらせた山梨県の報告がありました。

大阪の代表は、維新府政が「統一国保」に突き進み、法定外繰り入れをやめるよう指導しているため、保険料が際限なく引き上げられる」と強調。「コロナ禍と物価高騰で最も被害を受けている入たちは

中央社保協国保部会として「国に一兆円の公費投入で協会けんぽ並みの保険料（税）へ」の引き下げ／保険証の存続／各地での署名運動・自治体キャラバン要請行動などの行動